

白河農工高等学校 電気科3年次
 郡山工業高等学校 工業化学科3年次
 小高工業高等学校 電気科3年次、電子科・精密機械科・機械科・化学工学科・電気科(学級増)2年次
 勿来工業高等学校 電子科2年次
 郡山西工業高等学校 機械科・電気科・化学工学科2年次
 平工業高等学校 精密機械科2年次
 塙高等学校 電気科2年次

設備費計 74,336,000円

施設費計 81,619,000円 $\left\{ \begin{array}{l} R \quad 181坪 \\ S \quad 1,093坪 \\ W \quad 165坪 \end{array} \right.$

(2) 中学校産業教育設備の充実

中学校産業教育設備については、昭和38年度において中学校技術・家庭科充実参考例が改訂され、昭和39年度においては、その第2年次分として次のとおり実施された。

充実状況 学校規模	38年度末充実					39年度充実					39年度末充実(推定)				
	学校数	基金	準額	充額	充実率	学校数	基金	準額	充額	充実率	学校数	基金	準額	充額	充実率
5学級以下	62	79,635	20,860	26.2	6			900			59	75,827	21,760	28.5	
6～17学級	210	563,810	213,391	37.8	47			14,100			212	569,179	227,491	39.9	
18学級以上	73	219,701	114,116	51.9	13			5,850			70	210,672	119,966	56.9	
計	345	863,194	348,368	40.3	66			20,850			341	855,679	369,218	43.1	

2 農業教育近代化の促進

農業の最大課題である農業後継者の育成をはかるため、次のとおり体質改善のため施設・設備を充実した。また、県単独事業として、対象学校の教員を研究機関に派遣し農業教育の刷新強化につとめた。

(1) 施設・設備の充実

福島農蚕高等学校 園芸科体質改善3年次
 相馬農業高等学校 畜産科体質改善3年次
 岩瀬農業高等学校 畜産科体質改善2年次
 磐城農業高等学校 園芸科体質改善2年次
 会津農林高等学校 農業科(園芸)体質改善2年次
 小高農業高等学校 畜産科体質改善1年次
 東白川農商高等学校 農林科(園芸)体質改善1年次

設備費計 10,050,000円

施設費計 12,141,000円(S233坪)

(2) 農業科教員の研修

農林省園芸試験場 3人 1か月
 神奈川県畜産試験場 4人 1か月

3 普通科等家庭科教育設備の充実

昭和38年度の教育課程の改訂により、普通科または商業科に在学する女子生徒について家庭一般4単位必修となったため1校当たり300,000円計3,600,000円を次の学校に配分し、家庭科教育設備の充実をはかった。

普通科	商業科
郡山女子高等学校	郡山商業高等学校
保原高等学校	若松商業高等学校
若松女子高等学校	平商業高等学校
大沼高等学校	
田島高等学校	
南会津高等学校	
四倉高等学校	
富岡高等学校	
只見高等学校	

4 定時制教育設備の充実

定時制高等学校における教育設備の充実については、昭和28年度から10年計画で実施されていたが、さらに昭和38年度から新年次計画(理科教育設備2か年、理科を除く教科設備5か年)のもとに充実をはかることになり、その第2年次分として次のとおり実施した。